

2023年度 年次報告書

Annual Report 2023

発行/2025年(令和7年)3月1日

発行者/認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ



認定特定非営利活動法人
がんサポートコミュニティ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-10-4 虎ノ門ガーデン 214

TEL : 03-6809-1825 FAX : 03-6809-1826



<https://csc-japan.org/>

がん体験者のための両立支援「無料・就労相談」開始

専門職間スピリチュアルケア 教育カリキュラム(ISPEC)の 運営に携わる

2023年4月26日(水)、札幌コンベンションセンター(北海道札幌市)で、第3回・第4回がん緩和ケアに関する国際会議合同大会が開催を前に専門職間スピリチュアルケア教育カリキュラム(ISPEC)が開催されました。スピリチュアリティを医療に統合する運動のパイオニアである米国ジョージ・ワシントン大学スピリチュアリティと健康のためのジョージ・ワシントン研究所創設者兼所長クリスティーナ・プチャルスキー医学博士らを講師に迎えて、国内外の研究者48人が参加しました。事務局長・大井賢一はカリキュラムの運営に携わりました。



メスキュード医療安全基金 から寄付金200万円が贈呈

2023年5月9日(火)にメスキュード医療安全基金贈呈式が開催されました。同基金は、医療廃棄物の適正処理だけでなく医療活動とその発展に貢献したいという思いから、2002年6月に設立されました。同基金は医療廃棄物の溶解処理・再利用に関係する収集運搬会社・中間処理会社・従業員の同意を得て一定額

を積み立て、年に一度、国内の医療関係団体に寄付されています。贈呈式に際して、同基金設立に関わられた坂口力元厚生労働大臣よりご挨拶がありました。がんサポートコミュニティは、この基金から寄付金200万円の贈呈を受けました。



がん体験者のための両立支援 「無料・就労相談」開始

2023年5月26日(金)からがん体験者の「働きたい」を支えるために「無料・就労相談」を開始しました。私たちの就労支援はコーチングを生かした就労支援で“がん就労バディプログラム”だと考えています。私たちはバディ(buddy)を友だち(friend)と相棒(partner)を足して2で割ったような意味に捉えています。



就労支援には、企業内でがんと向き合う社員に化学療法に関する専門知識を持ち、自らのがん体験を活かして治療と就

労の両立支援コーディネーターとして取り組んでいる薬剤師でありキャリアコンサルタントでもある小澤雅之が就労支援員として担当します。

ルネサンスと共催して 大阪国際がんセンター認定 がん専門運動指導士による 「体操教室」開始

2023年3月28日(火)に閣議決定された第4期がん対策推進基本計画の「2.患者本位で持続可能ながん医療の提供」で、がんのリハビリテーションについて言及されています。しかし、診療報酬における「がん患者リハビリテーション料」は「入院中」との算定要件があり、退院後の外来でのリハビリテーションについては診療報酬上算定されず、取り組むべき施策に「入院に加え外来においても、効果的・継続的ながんのリハビリテーション提供体制の整備を推進する。」と謳われたものの、実装には時間がかかると考えています。



がんサポートコミュニティは、賛助法人会員の株式会社ルネサンスと協働、講師に理学療法士で大阪国際がんセンター認定がん専門運動指導士である八尋敦子さんをお招きし「体操教室」を開催しています。

Cancer Survivors Day 2023 にブース出展

2023年6月4日(日)に国立がん研究センター築地キャンパス新研究棟(東京都中央区)で開催された公益財団法人日本対がん協会主催Cancer Survivors Day 2023にがんサポートコミュニティは30の支援団体・企業と共にブース出展しました。



株式会社東京堂と共催して 第3回Flower Circle 「香水ボトル型アレンジ」開催

2023年8月4日(金)に株式会社東京堂と共催して、第3回フラワーサークルを事務所(東京都港区)で開催しました。今回は株式会社東京堂が提供するドライフラワー、プリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワーの花の形や色を選び、ミニサイズの香水ボトル型アクリルベースに飾り付ける創作活動に勤しんでいただきました。



「がんを正しく知り、 がん対策を学ぶ研修」開始

2023年10月8日(日)～9日(月・祝)にLstay&grow南砂町(東京都江東区)で、2023年3月28日(火)に閣議決定された第4期がん対策推進基本計画の全体目標「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

と謳われています。

がんサポートコミュニティと公益財団法人日本対がん協会はこれを受けて、同研修にはがん患者、患者家族(遺族)、医療者、関連企業の社員の方たちに向けて「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ」をテーマとした研修を厚生労働省の後援を得て共催しました。



第1日目は2会場で、管理栄養士による「栄養と食事」、がんを体験した薬剤師でキャリアコンサルタントによる「がん治療と仕事の両立」、緩和ケア医による「がん治療と緩和ケアの二人主治医制」、臨床心理士による「ピアサポートとサポートグループ」、看護師でファイナンシャルプランナーによる「がん治療とお金」をテーマに講演が行われ、「患者・市民参画のあり方」をテーマにワークショップが行われ、86人に参加いただきました。



第2日目も2会場で、腫瘍内科医による「薬物療法と上手に向き合う」、リハビリテーション医による「がんとりハビリテーション」、厚生労働省による「第4期がん対策推進基本計画を学ぶ」、主催者を代表して垣添忠生による「医師・患者・家族としてがんに向き合う」をテーマに講演が行われ、「医療情報のあり方について考える」をテーマに意見交換が行われ、71人に参加いただきました。2日間の同研修は延べ157人ものがん患者や市民に参加いただきました。

第30回全国地域安全運動 豊島区民大会に「合唱団 いきのちから」が招聘

2023年10月6日(金)に巣鴨・目白・池袋警察署は、豊島区、各署防犯協会とともに、帝京平成大学沖永記念ホール(東京都豊島区)で、フリーアナウンサー高見侑里さんを一日警察署長に迎え、第30回全国地域安全運動豊島区民大会を開催しました。同大会に合唱団いきのちからが招聘され、「童謡メドレー」と「心の瞳」を演奏披露しました。



がん研究10か年計画の 策定に関わる

2023年10月20日(金)に「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」(座長：中釜斉国立がん研究センター理事長)は、我が国全体で進めるがん研究の今後のあるべき方向性と具体的な研究事項等について検討を行い、報告書を取りまとめました。その議論に事務局長・大井賢一が構成員の一人として関わりました。

「第5回とわの会」開催

2023年10月21日(土)に事務所(東京都港区)で、ご逝去されたメンバーが私たちと共に時をお過ごしくださった場で、ご家族の皆さまとありし日を偲ぶ「第5回とわの会」を開催、5人のご家族に参加いただきました。





国連NGO日亜文化交流協会 よりSDGs活動認証を受ける

2023年11月28日(火)に国連NGO日亜文化交流協会(Japan Asia Cultural Exchanges:JACE)よりSDGs活動に真摯に取り組む団体である証明として「SDGs活動認証」を受けました。

令和5年度豊島区がん対策 推進特別講演会&がん体験 者が歌う合唱団いきのちから コンサート2023を開催

2023年12月18日(月)に、としま区民センター小ホール(東京都豊島区)で、豊島区と共催して「令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会&がん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサート2023」を開催しました。月曜日の開催でしたが、117人もの市民の皆様にご来場いただきました。第I部の令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会では、豊島区医師会会長・土屋淳郎氏を招いて「高齢者とがん～在宅医療と看取り～」と題し、お話しいただきました。後半には理事長・渥美隆之と「高齢者とがん」について対談が行われました。



第II部のがん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサートは、「童謡メドレー」にはじまり、家族愛や夫婦愛、大切な人と思う気持ちへの感謝などの思いが込められた1985年8月12日(月)日本航空123便墜落事故で亡くなった坂本九さんの遺作「心の瞳」、タイトルの「999」には、大人の1000になる前で未完成の青春の終わりという意味が込められている「銀河鉄道999」などを披露しました。毎年恒例の来場者との合唱体験では「ペチカ」のメロディパートを来場者に向けて合唱

団いきのちから指揮者・湯川晃が指導、その後、コーラスパートを合唱団が歌い、会場一体でクリスマス気分を盛り上げました。



ありがとう 大阪マラソン2024

2024年2月23日(金・祝)と24日(土)の2日間、大阪南港・インテックス大阪(大阪府大阪市)で大阪マラソンEXPOが開催されました。チャリティコーナーでは、賛助法人会員の株式会社ルネサンスにご協力いただいたランニングアドバイスと、多言語による翻訳QRコード付「がん予防啓発リーフレット」にALL CANCER RIBBONピンバッジを付けて来場者に配布しました。がんを早期発見・早期治療することで5年生存率が向上すること、その鍵はがん検診であると訴えました。



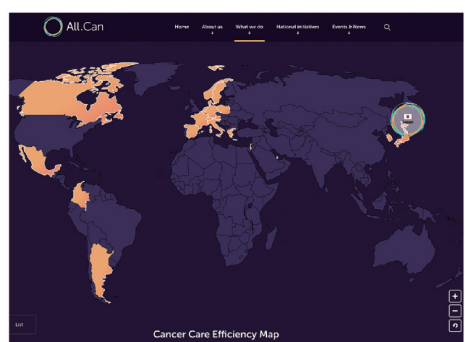
がんサポートコミュニティのチャリティランナー吉田知史氏が大阪マラソン2024ベストチャリティーランナー賞<支援人数の部>で最多の122人の方からの支援を集め、表彰されました。



2月25日(日)のマラソン当日は小雨交じりのなか、ゴール前42km地点でチャリティランナーの皆様を応援しました。



All.Canが提供するがん医療 効率ヒートマップに協力



がんサポートコミュニティ下部組織として新設されたがん対策総合機構は、All.Can internationalメンバーです。All.Canは、がんの影響を受けるすべての人のための持続可能な医療を推進するために、がん医療の効率化に取り組んでいる国際的な多様な利害関係者で構成される非営利団体です。All.Canが提供するがん医療効率ヒートマップは、世界のがん対策の状況を共有することを目的としたビジュアルディスプレイです。

2024年2月14日(水)にがんサポートコミュニティは、第4期がん対策推進基本計画の策定に関わるなかで、日本におけるがん医療効率化に関する情報を収集、このマップに協力しました。

がんサポートコミュニティのがん患者支援プログラムに参加を希望される方、活動への支援を希望される方は、事務局までご連絡ください。詳しくは二次元コードからホームページをご覧ください。



03-6809-1825



info@csc-japan.org





2023年度 会計報告 The 2023 financials

活動申告、2024年3月31日終了 Statement of activities, year ended March 31, 2024

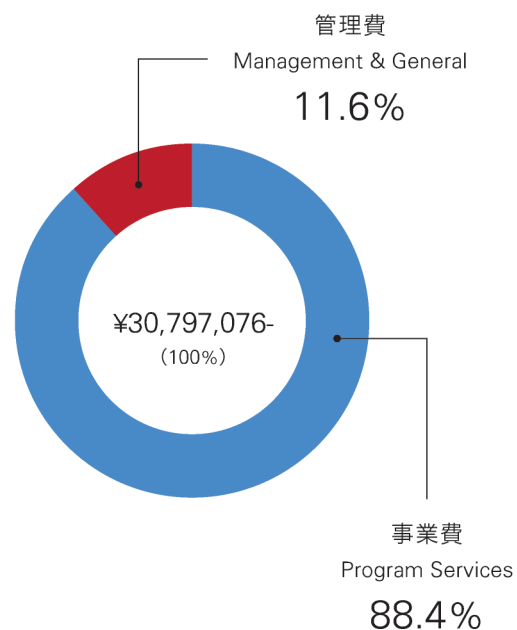
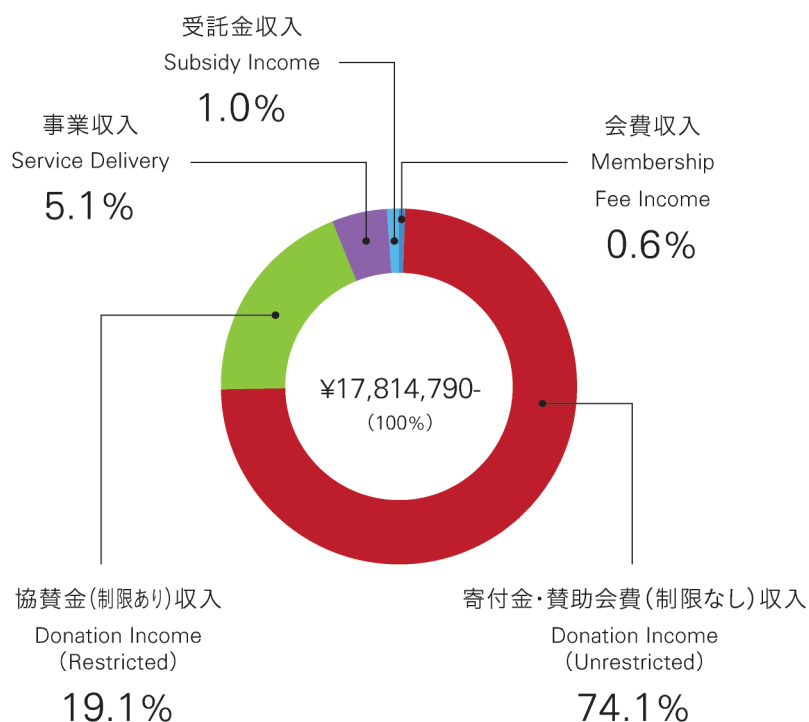
	制限なし UNRESTRICTED	制限あり RESTRICTED	計 TOTAL
経常収入 REVENUES			
正会員費収入 Membership Fee Income	110,000		110,000
寄付金(賛助会費・協賛金を含む)収入 Donations Income	13,206,289	3,400,000	16,606,289
受託金収入 Subsidy Income		186,000	186,000
事業収入 Service Delivery	912,070		912,070
心理社会的支援活動 Medical Consultation	33,000		33,000
技術的支援活動 Relaxation	540,500		540,500
普及啓発活動 Education/Outreach	90,000		90,000
調査研究及び情報交換 Research	248,570		248,570
雑収入 Miscellaneous Income	0		0
金利収入 Interest Income	431		431
経常収入計 Total Revenues	¥14,228,790	¥3,586,000	¥17,814,790
経常費用 EXPENSES			
事業費 Program Services	23,639,810	3,586,000	27,225,810
管理費 Management and General	3,571,266		3,571,266
経常費用計 Total Expenses	¥27,211,076	¥3,586,000	¥30,797,076
当期経常増減額 Change in Net Assets	- ¥12,982,286		- ¥12,982,286
前期繰越正味財産 Net Assets at Beginning of Year-restated			¥55,300,158
次期繰越正味財産 Net Assets at End of Year			¥42,317,872

単位:円 / Unit:Yen

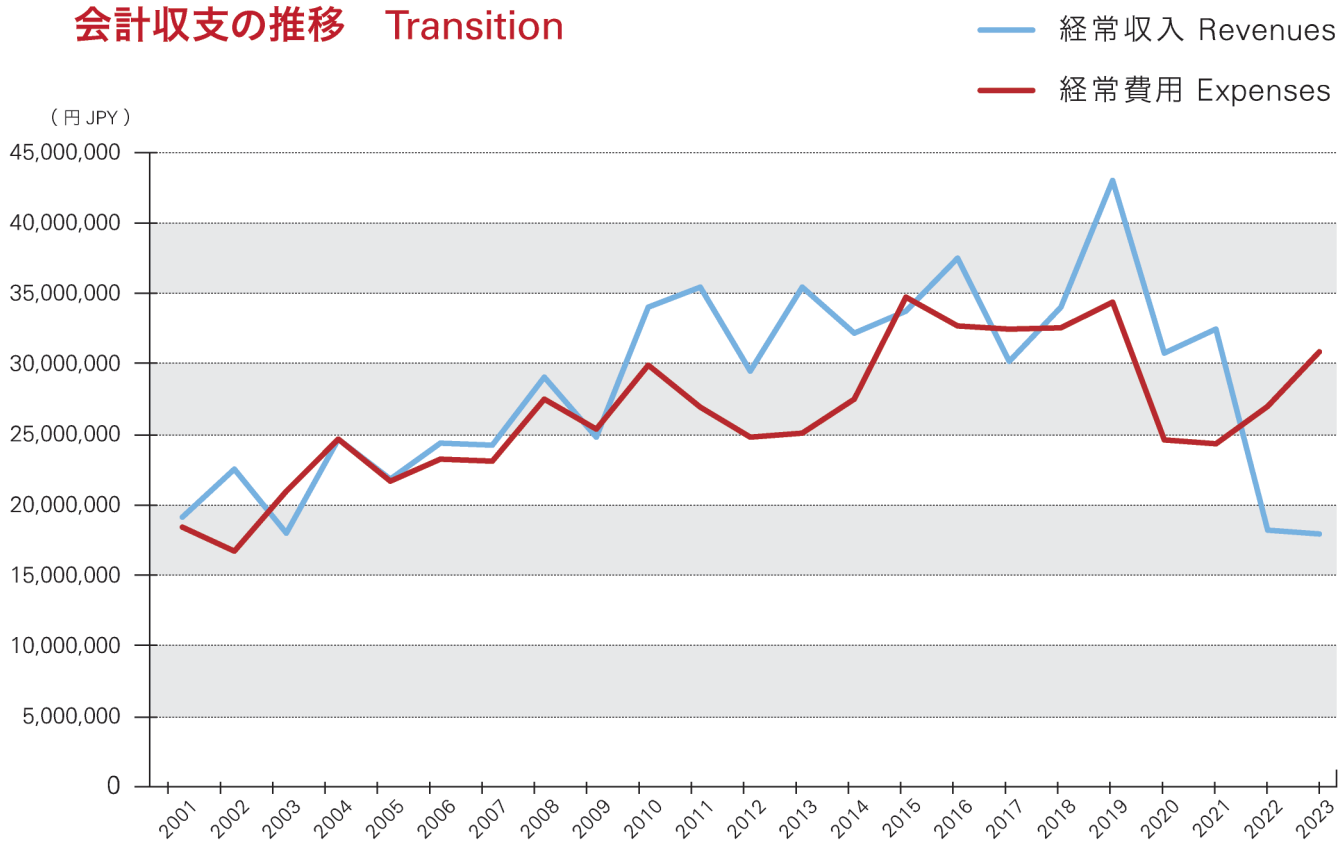


経常収入 Revenues

経常費用 Expenses



会計収支の推移 Transition



会計収支の推移／Fig. 1 Fiscal Balance Trends



2023年度活動実績 The 2023 activity results

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
サポートグループ Support Group	1,072	868	404	320	638	700
① 導入(短期)グループ Introduction Group	56	34	0	0	0	0
② 部位を問わないグループ Group Regardless Of Cancer Site	132	69	52	9	88	81
③ 部位別(継続)グループ Group By Cancer Site	255	48	16	41	—	—
④ 状況別(継続)グループ Group By Circumstance	368	498	209	165	331	373
⑤ 出張サポートグループ Off-Site Group	261	219	81	60	165	196
⑥ オンライン グループ On-line Group	—	—	—	5	54	50
オンライン カフェ On-line Cafe	—	—	46	40	—	—
リラクセーション Relaxation	662	647	187	272	540	529
⑦ 自律訓練法 Autogenic Training	53	21	11	13	19	5
⑧ ヨーガセラピー Yoga Therapy	166	144	51	65	102	146
⑨ アロマセラピー Aroma Therapy	13	11	0	7	22	31
⑩ 音楽療法 Music Therapy	430	471	125	187	397	334
⑪ 体操教室 Physical Exercise	—	—	—	—	—	13
医療相談 Medical Consultation	19	30	11	8	10	5
就労相談 Work Consultation	—	—	—	—	—	8
患者・市民参画研修 Patient and Public Involvement Training	—	—	—	—	—	157
計 Total	1,753	1,545	602	600	1,188	1,399

単位:人 / Unit: Person

※2024年3月31日 集計

感謝を込めて! With Special Thanks!

企業 Companies

アステラス製薬株式会社
 アムジェン株式会社
 医療法人社団晴山会平山病院
 MSD株式会社
 小野薬品工業株式会社
 株式会社S・S・I
 株式会社ビルダリッジ
 株式会社読売新聞東京本社
 株式会社ルネサンス
 グンゼ株式会社
 住友生命保険相互会社
 第一三共株式会社
 中外製薬株式会社
 西本Wismettacホールディングス
 日本イーライリリー株式会社
 日本化薬株式会社
 ノバルティスファーマ株式会社
 バイエル薬品株式会社
 ファーマライズホールディングス株式会社
 ファイザー株式会社
 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
 PDRファーマ株式会社
 メルクバイオファーマ株式会社
 ヤンセンファーマ株式会社

個人 Individuals

芦崎治夫	佐藤衣	中村眞佐江
渥美隆之	澤渡勝	行木宏枝
池田豊	穴戸信次郎	奈良眞由美
植上エツ	島野圭子	西野明樹
上田雅貴	代田治彦	橋本小百合
内山晃	鈴木志津子	花光康二
太田さつき	須田育	福井里美
織田輝明	早田篤司	古田譲
亀井宏明	高田貴美枝	松岡美佐子
河正子	滝川博明	松崎圭祐
川口明美	田口隆	松本美智子
川向光彦	竹生幹夫	水野久子
木曾勤	田尻明美	味八木保雄
串哲也	田中義英	山田啓蔵
久山裕子	田村江里子	山田貞義
小崎龍平	田中マユミ	山本悟
小林大平	千秋敏	山本重夫
小林由美子	堤清美	横田雪路
蔡傳 寶智慧巧	内藤忍	
斉藤立代	中川千恵	

その他、個人からの遺贈が1名、
 顕彰を辞退された寄付者が27名います。
 そして、大阪マラソン2024に関係する寄付者が157名います。



がんサポートコミュニティ
 理事長
 渥美隆之

ご支援いただいている皆さまへ

がんサポートコミュニティの歴史は、外科医であった竹中文良博士が自らの大腸がん体験から患者が抱える苦悩を知り、2000年に“がんひとり向き合わない”社会をめざす米国Cancer Support Community (当時The Wellness Community)で研修を修了した時に始まります。2010年に竹中博士は新たな肝臓がんとの闘いの後、家族に見守られながら永眠されました。私たちは竹中博士の遺志を継ぎ、多くの専門家の協力を得て、がん患者支援活動に専心しています。2017年に東京都知事より認定NPO法人として認定され、寄付者の皆さまには税制優遇措置を受けていただけるようになりました。

私たちが四半世紀に及ぶがん患者支援活動を継続できたのは、支えてくださる皆さまの志のお陰と心より感謝を申し上げます。同時に、日本におけるがん患者支援活動を発展させてゆくパートナーシップに期待しています。



23年間の支援活動 Over 23 years of support activities

がんサポートコミュニティは、生きる希望を支える活動を、より確かなものにするために歩み続けてまいりました。私たちは、“絆はがんに負けない”と信じています。

The Cancer Support Community Japan have made strides over time to ensure that support your hopes to live. We believe that “community is stronger than cancer.”

**the
wellness.
community®**
tokyo
cancer support, education and hope



がん対策総合機構
Cancer Policy Institute Japan

2001

竹中文良博士は東京・赤坂にジャパン・ウェルネスを創設

2009

厚生労働科学研究がん対策のための戦略研究「緩和ケア普及のためのプロジェクト」から柏市で心理社会的支援としてサポートグループを開始

2011

大阪マラソンに寄付先団体としてチャリティマラソンに参加

2017

認定NPO法人として東京都より認定を受ける

2019

第6回エクセレントNPO大賞 & 組織力賞をW受賞

2022

がん対策総合機構を新設

2006

竹中文良とジャパン・ウェルネスはがん患者とその家族への心のケアの貢献から第54回菊池寛賞を受賞

2010

第一三共Presents
家族のきずなシアターを後援

2013

大阪マラソンの寄付金で
大阪市で心理社会的支援としてサポートグループを開始

2018

がん患者支援アプリ
「CAN.」開発

2020

コロナ禍にあって在宅から
心理社会的支援に参加できる
オンラインカフェを開始

2023

第4期がん対策推進基本
計画の策定に参画

メスキュード医療安全基金受賞

